（別紙）令和２年度　第２回加東市自転車活用推進計画策定協議会の経過

１　開会

２　議題

（１）アンケート結果について

（２）加東市における自転車の利用状況

（３）施策について

（４）自転車ネットワーク路線について

|  |  |
| --- | --- |
| 発言者 | 会議の経過／発言内容 |
| 資料１～７を事務局一括説明 |
| 議長 | 資料５（加東市における自転車の利用状）について、田原委員補足があればお願いします。 |
| 委員 | 自転車分担率が高い尼崎市等は、平坦な土地柄の地形的要因が影響している。加東市が低いのは山間部の地形が影響している。加東市の自転車事故がH29以降増加傾向なのは、外国人雇用者の増加が要因と考える。また、市街地付近に事故は集中し、特に交差点での飛び出しが多いのが特徴である。 |
| 議長 | 市が選定する自転車ネットワーク路線に県管理の道路を選定していいのか。 |
| 委員 | 将来的にどんな内容の整備をいつまでにしなければいけないのかとういう整理が必要。また、生活系ネットワーク路線と観光系ネットワーク路線とに分けてあるが、一緒にしてよいのか疑問である。今後、どんなハード整備、ソフト対策をするかをまとめることになるが、ハード整備については、県が策定している社会基盤整備プログラムに事業計画として挙がっている路線であれば、整備検討はできる。また、ネットワーク路線に挙げるにしても、優先順位をつけてあげる必要がある。整備内容にも自転車道の整備、路面表示、看板設置などあり、どのようにまとめるかが重要である。 |
| 議長 | 路線として挙げるのが良いが、整備内容は別ということか。 |
| 委員 | そうでないと、現実的でない。構想計画としてまとめるものではないので、計画期間を区切って挙げる必要がある。 |
| 委員 | 市の中心市街地BIOやホテル誘致という大きな２つのまちづくりの話があるので、そことの連携、関連付けを考慮しているのか。今回のネットワーク路線に挙げっていないので、そのような視点もいれていただければよいのでは。 |
| 事務局 | ２つの計画については把握しているが、連続性を鑑み、路線案には挙げていないが、検討する。 |
| 委員 | 候補路線には、自転車道や路面表示、あるいはサインをする予定か。 |
| 事務局 | 候補路線すべてに自転車道等の整備は予算的なことを考慮すれば現実的でないので、サインを含めた対策をしていきたい。 |
| 事務局 | 補足ですが、アンケートを踏まえた案であり、具体的な内容については、今後道路管理者とも相談し進めていく。 |
| 委員 | 現道を拡幅せず路面表示をするとなると、大型車がその上を踏んで走行するため、１年もすれば表示が消えてしまう恐れがある。だから道路管理者と協議し、道路幅員が広い路線に自転車専用通行帯を設置するという考えのもとやらないと危険である。 |
| 事務局 | 当然警察の意見を伺いながら進めていく。 |
| 委員 | 通学路ゾーンの緑の舗装と自転車専用通行帯の青の舗装を混在しないようお願いしたい。 |
| 委員 | 観光面から、HとFルートはかなり特異なルートで、車幅が狭小なところもある。もっと、主要な道を走りやすくする方がよいのでは。 |
| 委員 | 生活系ネットワーク路線と観光系ネットワーク路線とを１つに整理せず、切り離した方がよい。 |
| 事務局 | 検討する。 |

　３　その他

４　閉会